

2025年6月24日

各 位

会 社 名 幼児活動研究会 株式会社
代表者名 代表取締役社長 山下 孝一
 (スタンダード・コード: 2152)
問合せ先
 役職・氏名 取締役管理本部長 川田 伸
 電話番号 03-6685-0733

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組みについて

当社は、本日開催の取締役会において、会社の持続的成長と中長期的な企業価値向上を図るべく、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状を分析・評価し、企業価値向上に向けた取り組み方針について決議いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以上

資本コストや株価を意識した 経営の実現について



幼児活動研究会株式会社

2025年6月24日

現状分析

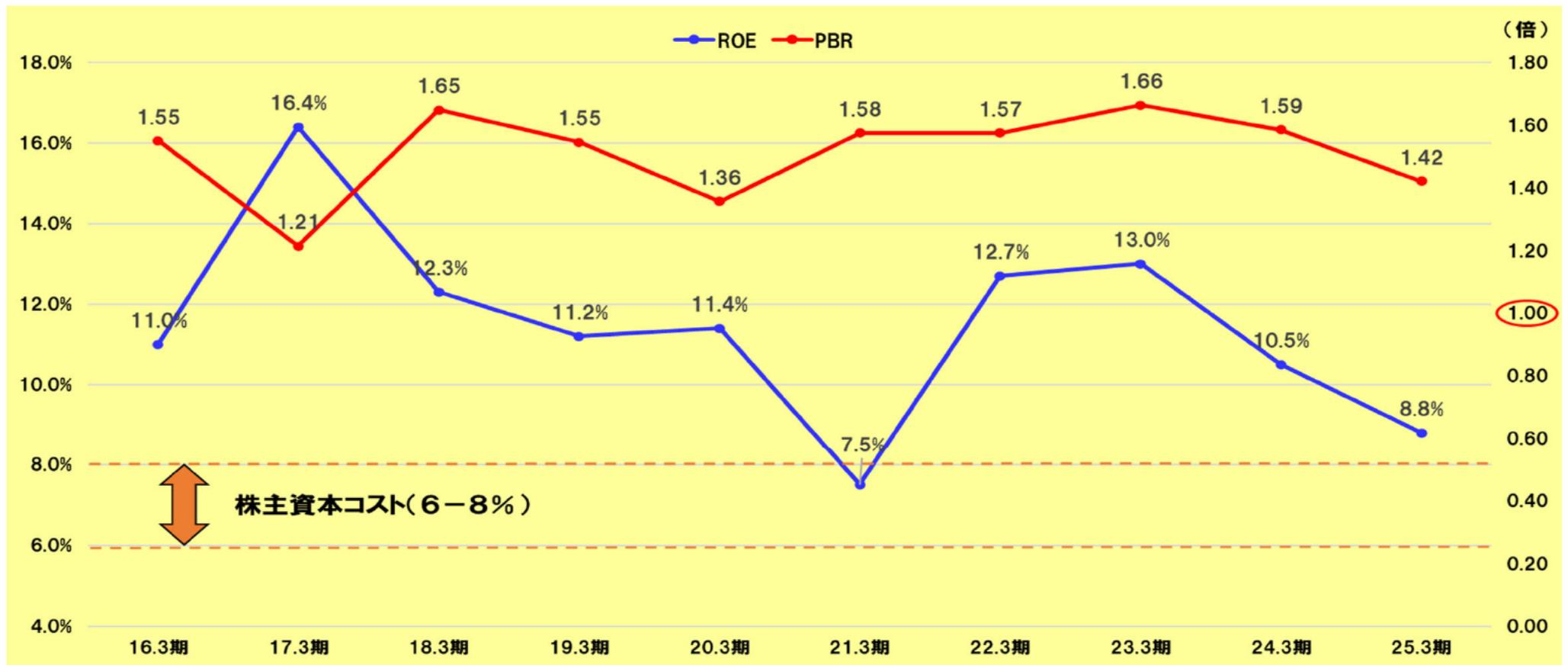


■PBR:1.42倍(2025年3月末)

⇒過去10期は1.2~1.7倍の範囲で推移、ミニマム1倍以上の状況が継続

■ROE:8.8%(2025年3月末)

⇒2021年度はコロナ禍で大きく低下、それ以外の年は株主資本コストを上回る



市場の評価を得るためには、株主資本コストを上回る資本収益性の達成が必要

持続的成長と企業価値の向上



対応	具体的な取り組み	
収益性の改善	既存事業の強化 ROEを意識した経営	収益性改善
内部留保の活用による成長に向けた投資	M&A・事業提携などの投資戦略の実行 システム投資 人的投資	資産効率化
成長戦略の実行	幼児体育指導市場のシェアアップ コンサルティングビジネスの強化 療育ビジネスの強化	成長に向けた キャッシュ アロケーション
株主還元などの資本政策	安定配当の継続 株式の流動性を高める施策の検討	

収益性の改善

■既存事業の強化

- 👉 体育指導だけではなく、契約園の発展に関わるさまざまなサービスの提供
- 👉 利益率の高いコンサルティング事業の拡大

■ROEを意識した経営

- 👉 経常利益率15%以上の経営指標に加え、ROE10%以上の維持・継続を図る

内部留保の活用による成長に向けた投資

■M&A・事業提携などの投資戦略の実行

👉 既存事業の価値最大化

👉 新規事業の創出や新たな販路の獲得

■システム投資

👉 AIを駆使した新たなサービスの提供

■人的投資

👉 安定した定期採用、ベースアップ

👉 リファラル採用等の新たな採用方法の活用

成長戦略の実行

■ 幼児体育指導市場のシェアアップ

👉 競合企業のM & A・アライアンスによる
シェア拡大

👉 国内幼児体育市場の深堀り

■ 療育事業の拡大

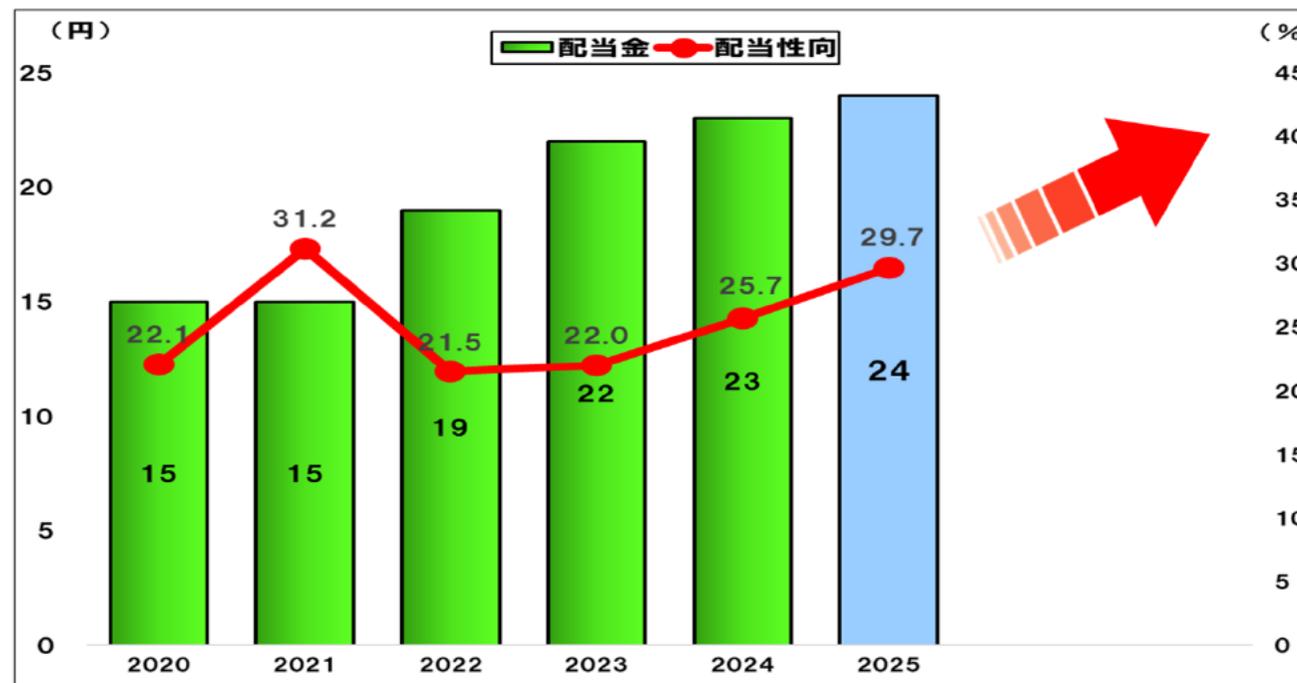
👉 療育施設の大規模都市での展開

👉 療育指導者の育成と療育指導者による
園での指導の全国展開

■ 新規ビジネスの発掘

株主還元などの資本政策

■安定配当の継続



■株式の流動性を高める施策について検討

未来を背負う子供たちのため 日本社会人類世界に貢献する

- 少子化時代を乗り越える成長理念
人を喜ばす社風が売上利益の源泉
となる企業